

補正予算書に戻っていただきまして、次のページ、42ページでございます。

第5条の議会の議決を経なければ流用することができない経費につきましても、給与費の改定に伴い、9,738万1,000円に改めるものでございます。

次のページ、43ページ以降に今回補正予算に係る参考資料等、添付をいたしておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。

以上で議案第74号、平成29年度筑紫野市下水道事業会計補正予算（第2号）の説明を終わらせていただきます。よろしく御審査の上、御可決賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○委員長（大石 泰君） 何か質疑ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大石 泰君） 質疑を打ち切ります。

ただいまから討論を行います。議案第74号について討論される方はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大石 泰君） 討論を打ち切ります。

これより採決を行います。議案第74号、平成29年度筑紫野市下水道事業会計補正予算（第2号）の件について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大石 泰君） 御異議なしと認めます。よって、本件は全員一致をもって可決するものと決しました。

○環境経済部長（長野健一君） ありがとうございます。

○委員長（大石 泰君） お疲れさまでした。

○副委員長（山本加奈子君） ありがとうございます。お疲れさまでした。

○委員長（大石 泰君） しばらく休憩します。

—————・—————・—————
休憩 午前11時21分

再開 午前11時22分
—————・—————・—————

○委員長（大石 泰君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

ただいまから所管事務報告を行いたいと思います。

今、河川課の課長が見えていますので、部長から紹介してください。部長。

○建設部長（森下義明君） 改めまして、よろしくお願いいたします。

出席しております職員をまず紹介させていただきたいと思います。

河川課の東原課長でございます。

○河川課長（東原一広君） 河川課、東原です。よろしく申し上げます。

○建設部長（森下義明君） 同じく河川課の河川担当の松永係長でございます。

○河川担当係長（松永崇臣君） 松永です。よろしくお願いいたします。

○建設部長（森下義明君） どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（大石 泰君） それでは、課長のほうから報告をお願いします。課長。

○河川課長（東原一広君） 河川課から、県営高尾川・県営鷺田川改修事業の進捗について報告をいたします。

まず、高尾川床上浸水対策特別緊急事業の工事進捗について報告いたします。

地下河川築造工事につきましては、11月26日時点で、地面から13.9メートルの深さまでケーソンが沈下しております。最終深さのおおむね半分まで沈下が進んでいます。現在は立坑の4番目の壁を築造中で、沈下完了は来年2月中旬を目標として進められております。

次に、地下河川の流出口となる到達立坑につきましては、12月19日に入札が予定されており、年内には施工業者が決定する見込みです。

以上が高尾川の工事進捗になります。

続きまして、鷺田川河川改修工事の進捗について報告をいたします。

現在、光正寺橋から上流に向かってバイパス河川との合流部になる護岸工事を行っております。工期は来年3月中旬までの予定です。

以上で河川課の報告を終わります。ありがとうございました。

○委員長（大石 泰君） 何かお聞きしたいことがあったらお願いします。ないですか。田中委員。

○委員（田中 允君） この前、78億か何か言いよったろう、総工費。この中に立坑の築造工事が入るとるわけ。一貫して前田とかが何とかがとったやない。あれとはまた別なの、これは。

○河川課長（東原一広君） 総事業で78億でありまして、これは発進の立坑と推進、その二つになっております。

○委員（田中 允君） これは前田がとったんじゃないの。

○河川課長（東原一広君） 前田じゃなくて、これは。

○委員（田中 允君） 前田建設やったろう。違ったかな。どこ。

○河川課長（東原一広君） 安藤ハザマと大豊と環境施設でございます。

- 委員（赤司泰一君） 市庁舎とごっちゃになっている。
- 委員（田中 允君） ごっちゃになっている。わからんたい。二日市のことはわからん。それはいいけど、建設会社はどこやった、もう一回言って。
- 河川課長（東原一広君） 安藤ハザマ、大豊、環境施設の3社のJVになっております。
- 委員（田中 允君） ここ、これよ。
- 河川課長（東原一広君） はい。今、工事をやっているところはそこでございます。
- 委員（田中 允君） あそこも市役所も環境施設が入ってなかったかな、ここだけか。わからんですか。まあ、それはいいとして、入札は全部一括して入札しておったわけやないわけ。
- 河川課長（東原一広君） いいえ、違います。
- 委員（田中 允君） あのときは幾らぐらいの入札やった。何を入札したの、あの人たちは。俺たち、竣工式やないけれども、行ったやないですか。
- 河川課長（東原一広君） あの分に関しましては、今掘っています立坑と、シールドマシンで掘っていきますけどもトンネルを掘っていく工事、その二つでございます。
- 委員長（大石 泰君） その入札。
- 河川課長（東原一広君） はい。それが終わって、今、工事をしておりまして、先ほど説明したのは、今度は到達立坑といいまして、西鉄二日市駐輪場側を同じように地下20メートル近く掘る部分の入札が12月19日に予定されます。
- 委員（田中 允君） わかるけれども、同じ会社が一括しないと、ドッキングし切らんやったらどうするんですか。いやいや、俺が言いよるのは、じゃあ、最初の工事は幾らやったと。
- 委員長（大石 泰君） 今、言っているのは、掘り進めての工事です。今、掘っている立坑と新しく入札する立坑と工事費、護岸工事、全てで78億でしょう。
- 河川課長（東原一広君） はい。
- 委員長（大石 泰君） この鷺田川の工事は入っていないんですかね。
- 河川課長（東原一広君） 鷺田川は別でございます。床上浸水対策特別緊急事業のみが、総事業費が78億。
- 委員長（大石 泰君） この高尾川のバイパス工事は、これは筑紫野市が発注するの。
- 河川課長（東原一広君） いいえ、県でございます。
- 委員長（大石 泰君） これはまた別で事業費が、入札があっておるっちゃろう。
- 河川課長（東原一広君） 鷺田川につきましては、もう入札が終わりまして、工事が進

んでおります。

○委員（田中 允君） それは何ね。

○河川課長（東原一広君） それは交付金事業でございます。

○委員（田中 允君） いや、安藤がしているわけ、それを。

○河川課長（東原一広君） それは違います。

○委員（田中 允君） それを説明してください、図面で。わからん、俺は。一括して発注されておると思っておるもんだから。

○委員（辻本美恵子君） 全体でいいですか。

78億円の全事業で、今、順番に入札して、これを入札して、これを入札してって、幾つに分かれた事業があって、78億が構成されているんですか。

○河川課長（東原一広君） おおむね二つです。

○委員（辻本美恵子君） それと、もう一つ、それに附随する、今言われた鷺田川改修事業は一つ。じゃあ全部で事業は三つということですか。

○河川課長（東原一広君） 事業としては床上浸水対策特別緊急事業と交付金事業の二つでございます。

○委員（辻本美恵子君） だから入札が何回行われて、どこの事業がどんなふうに進まっていくなのか。

○河川課長（東原一広君） 詳しくはわかりませんが、高尾川の床上浸水対策特別緊急事業は事業として一つです。入札は2回です。もう行われた分と今度12月に行われる分の2回で終わります。

○委員（辻本美恵子君） いいですか。

○委員長（大石 泰君） どうぞ。

○委員（辻本美恵子君） こっちが入り口を掘って、出ていくのが今度掘るんでしょう。ここを掘っていくのはどうなるの。

○委員長（大石 泰君） どうぞ、部長。

○建設部長（森下義明君） いろいろ事業がありますので、わかりにくいと思われませんが、まず、事業として二つの事業が動いております。地下河川事業と河川改修の部分になります。地下河川で発注しているのは、流入のほうです。水が入る受け入れの立坑の進捗状況を、御説明させていただいております。それから、今の高尾川の下にシールドマシンを使って、地下の約10メートル下に、5メートルの地下河川をつくる工事は一体として、安藤ハザマ・大豊・環境施設に発注しております。

先ほど課長が説明します、今月に発注するのが、紫駅の近くから入った水を西鉄の二日市駅の駐輪場近くのところで排出します。その排出する立坑を、12月に入札で決まる予定だということで、県のほうから情報を受けているところでございます。

それともう一つ、河川の整備ですね。高尾、鷺田川の部分、それについては一つの事業でございます。ただ、発注については、右岸左岸と、いろんな形で業者に、工事として細分化して発注するという形になりますので、今後も入札が発注されるということで聞いております。

以上でございます。

○委員（田中 允君） 今、部長言われたのが、床上浸水対策事業。

○建設部長（森下義明君） それも入っております。

○委員（田中 允君） 入っておるねと。

○委員長（大石 泰君） 高尾川、鷺田川の工事全体が床上浸水対策事業として捉えられておるのか、鷺田川は別でしているのか、二つの事業があるんですかね。

○河川課長（東原一広君） はい、二つあります。今、部長が説明したように、立坑を二つ掘る部分とトンネル部分が一つの床上浸水対策特別緊急事業でありまして、今、田中委員が言われているのは、緑の部分で、ここが橋口橋といいますけども、ここに今、スコーレがありますけど、橋口橋から下流、これからずっと下流、今、下流からずっと整備して、この赤まで終わっております。そして、今、工事中なのがこの緑部分でございます。このあたりも終わっております。バイパス工事と橋口橋下流、これが交付金事業のもう一つの事業でございます。ここに、今、12月19日に入札がありますと言いました立坑を掘りますけど、これから、この工事とこの川の下にずっと行きますと、トンネル工事で紫まで行く部分が床上浸水対策特別緊急事業でございます。事業は二つに分かれております。

○委員（田中 允君） 川幅を広くしたり、広くというか整備、補強したりするのは、今言うたもう一つの部分になるわけですか。

○委員長（大石 泰君） 対策事業の中に入っておるんでしょう。

○委員（田中 允君） 二つの分。

○河川課長（東原一広君） いわゆる橋口橋の下流であるか上であるかで二つに事業が分かれておりまして、ここのかかってくる部分に関しましては、約5割の川幅が広がってきて、ここまでは終わっております。これからずっとトンネルを掘りますけど、トンネル部分の上の川の幅は変わりません。

○委員（田中 允君） なら、あそこで一応、河川の拡幅というか、その工事は終わった

ということですかね、一応。

○河川課長（東原一広君） 終わりましたというか、上下合わせて70トン流そうとしている中で、上の川の中に足りない分を下の地下河川で補いますので、上の河川は平成橋、今度新しく架け替えましたが、あそこの分が少し護岸は高くなりましたけど、基本的にあの河川で満足すると。

○委員長（大石 泰君） 山本副委員長。

○副委員長（山本加奈子君） 済みません、今、御説明していただいた工事全部で78億というふうに考えていいんですか。

○河川課長（東原一広君） 一つだけ訂正させてください。

あと、大ざっぱに立坑が今度12月入札されて、今されている部分が紫の立坑とトンネルと言いましたが、トンネルでずっとシールドした後に、内面の仕上げ工事はまた別に発注されます。それも含めて、1次被膜といいますけども、落盤しないように、シールドマシンがきれいに終わった後に、その後にきれいに2次被膜といいますか、モルタルで仕上げたり、完璧に仕上げる工事が、もう一つか二つ入札されると思いますけども、それも合わせて、全ての事業を合わせて78億です。

○委員長（大石 泰君） 辻本委員。

○委員（辻本美恵子君） この流入立坑と出口の同じように鷺田川に穴をあけるのに、ほぼ同じような技術でやるような気がするんだけど、なぜ同時に入札しなかったのかということと、今度、別々にやって、この入り口をやったのと出口をやるというところが、そういう技術を持ったところが複数あるということですかね。

○委員長（大石 泰君） 課長。

○河川課長（東原一広君） それは複数あると思われれます。一緒に入札したとしましても、流入——水を呑み込む方の立坑工事と同時にする必要はありませんで、時間差的なものがありますので、シールドマシンの製作が終わって、トンネルを掘り始めるころで入札したのが妥当かなというふうに私どもは考えます。

○委員（辻本美恵子君） わかりました。

○委員長（大石 泰君） 県がすることだしね。

いいですかね。

事故のないような工事を県のほうにもお願いして、立派なものが完成するようにお願いしたいと思います。どうもお疲れさまでした。

○建設部長（森下義明君） ありがとうございます。